



2021年8月30日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 51号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. アフリカのカカオ生産者 中国の協力で大手チョコレート企業に対抗？ (8/25)

カカオ生産国のコートジボワールとガーナは、チョコレート産業内での利益の取り分を増やそうと、資金と新たな市場を中国に求めている。昨年9月、新型コロナウイルスのパンデミック中にもかかわらず、仕立てのいいスーツやコートジボワールの伝統衣装を着た要人たちが、アビジャン郊外の工業用地に集まった。カカオ工場の定礎式で、コートジボワールのアラサン・ワタラ大統領が礎石を据えるのを見るためだ。同工場は、年間5万トンのカカオ豆を処理できる。公式の報道発表では、工場のオープンが同国のカカオの歴史に「新たな章」を刻むとされた。この工場は、生カカオ豆をスイスのチョコレート製造企業バリーカレポーのような外国の商品加工企業に売る代わりに、豆をコートジ国内で加工し、「付加価値のあるカカオ加工品」を売って自国の収入増加につなげる。現在、国内加工は全体の約35%だが、2025年までにすべてのカカオ豆を加工できる体制を目指す。



*コートジボワール最大の都市アビジャン近郊のアンヤマで行われた加工工場の定礎式 写真：President's office

中国の投資

コートジボワールのカカオ加工プロジェクトにはアビジャンの西に位置する港湾都市サンペドロに建設予定の、同様の規模と加工能力を持つもう1つの工場も含まれる。資金は2160億CFAフラン（約422億円）相当

の融資を中国から受ける。またこの契約には、合計 30 万トンの保管能力を持つ倉庫 2 棟も含まれる。カカオ豆の保管用で、需要の高い時に最適な価格で販売する。

カカオ豆から得られる収入を増やすために中国の支援を求めているのは、コートジボワールだけではなく、19 年 9 月には、隣国のガーナが同国西部のセフウィウィアウソにカカオ加工工場を建設するにあたり、中国国有の複合企業、中国通用技術集団との覚書に署名した。この工場は Cocobod（ガーナカカオ委員会）と中国通用技術集団の官民連携パートナーシップとして運営する。工場の建設費用は約 1 億ドル（110 億円）で、ガーナのカカオ加工品の同国のカカオ生産数量に占めるシェアは 15%から 25%に上昇する見込みだ。



*2019 年に行われた、ガーナの新カカオ加工工場の覚書署名式 写真；Cocobod

新しい戦略

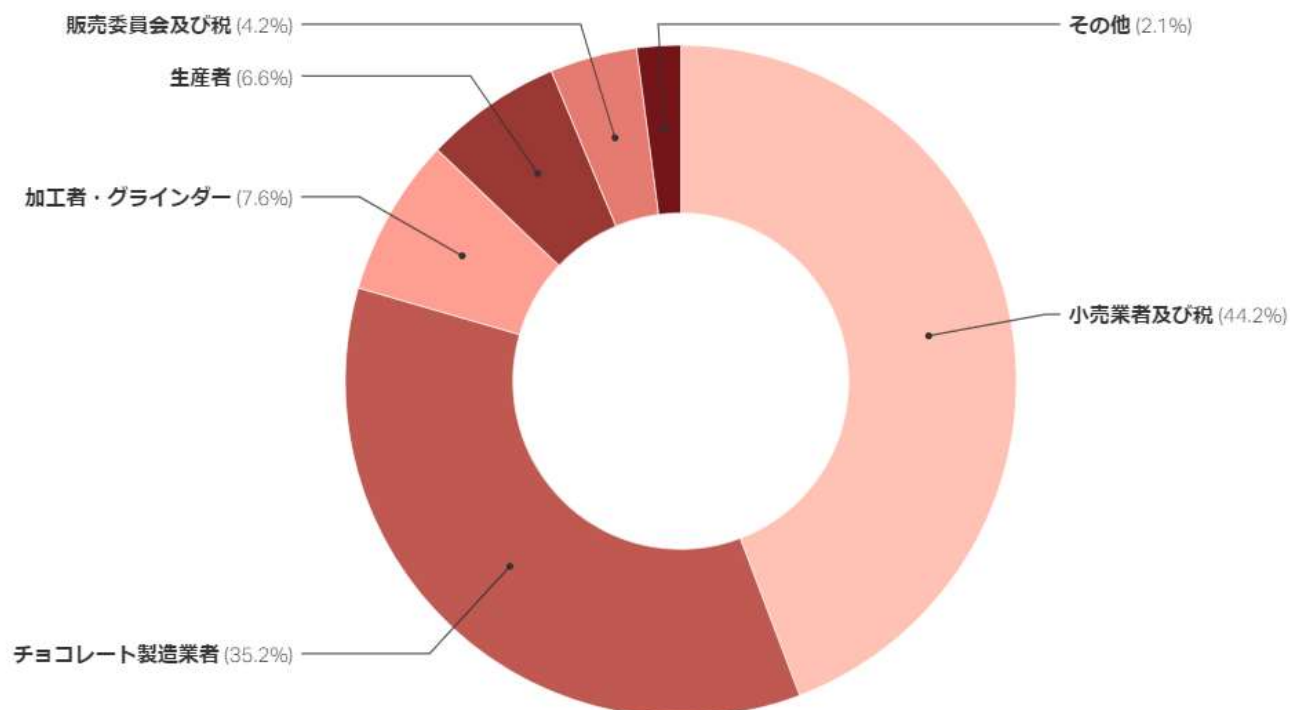
未加工のカカオ豆をバリーカレボーやオラム、カーギルなど欧米企業に供給する従来の形からの脱却、また中国からの投資に傾いているのは戦略的なものだ。パンデミックにより、主要なチョコレート消費市場である欧州と米国で需要が減少している。昨年、生産者支援のため、カカオ豆 1 トンあたり 400 ドルの追加税（LID、Living Income Differential）が課されたが、これはタイミングが悪かった。コートジボワールは在庫を動かすために値引きを余儀なくされ、追加税から得られる利益が実質相殺されてしまった。西アフリカでは今後数カ月間、好天でカカオ豆の増産が見込まれ、これがさらに価格を押し下げる要因となる。

国際ココア機関は最新の月報で「（コートジボワール）とガーナのカカオ生産量は史上最高レベルに達することが予測される」と警告した。16～17 年シーズンにも、好天による生産過剰と需要の不振が重なった同様の状況があり、10 年間で最低の価格を記録した。

生産過剰と世界的な需要低迷の中で自国のカカオ豆を適切な価格で売るために、コートジボワールとガーナが介入しなければならないことは明らかだ。いずれの国も、生豆より高値がつくカカオ半製品を供給する道に賭けている。これは輸出収入を倍増させる可能性がある。

カカオのサプライチェーンのシェア

販売されるカカオ1トン当たり



Source: ココアバロメーター・2015年・[Get the data](#)

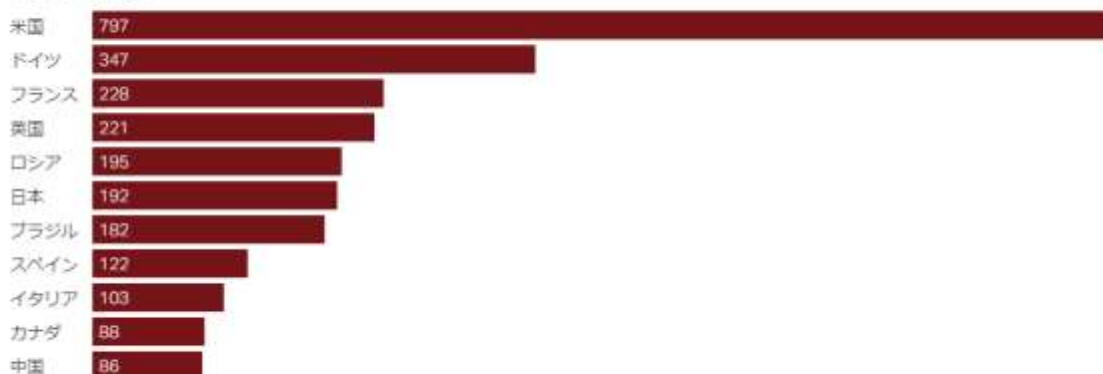
SWI swissinfo.ch

西アフリカはまた、カカオ加工品を中国市場に売ることに熱心だ。その思いは中国も同じらしい。今回のカカオ取引契約の一環で、2軒の工場の生産量の40%が中国企業向けに割り当てられるため、中国はコートジボワールの「茶色い金（ブラウン・ゴールド）」を優先的に入手できる。また、コートジボワールのカカオ委員会は中国に営業所を開設し、同国での販売活動を促進する。

中国の人口1人当たりチョコレート消費量は年間100グラム以下と少ないが、スイス企業の売り上げは増加している。19~20年、バリーカレポーの全世界での売上高は2%減少したが、アジア太平洋地域（中国を含む）では7.4%増加した。リンツ&シュプルングリーの20年の売上は全体で6.1%下落したのに対し、中国では10.1%の本業の成長を記録した。

世界のカカオ消費量上位国

(単位:千トン)



データソース: 国際ココア機関, 2019年・[データを入手](#)

SWI swissinfo.ch

支払うべき代償

大半のグローバルプレーヤーと同様、中国も融資とインフラ計画を利用して新市場への影響力とアクセスを獲得している。また中国はこれまで、インフラ契約の返済保証の担保としてカカオを使ってきた歴史がある。コートジボワールの新加工工場で生産されるカカオのうち年に4万トンという取り分は、融資の担保として要求されることになるだろう。中国はガーナでも、06年から13年までのブイ・ダム建設にあたって、同様の量のカカオを融資の担保として要求している。また中国からの融資は通常、中国の物資やサービスの利用が条件になる。例えば、加工工場と保管倉庫の建設工事は全て、中国軽工業設計工程有限公司（中国海誠工程技股份有限公司の子会社）との契約となる。フランス語の出版物「アフリカ・インテリジェンス」に掲載されたある報告書によると、コートジボワールのカカオ委員会は中国の契約について不満を述べ、建設現場に入れないと明かした。委員会は建設プロジェクトに地元企業が関与することを望み、ワタラ大統領に介入を依頼したと報じられている。

スイスへの影響は競争と原材料減少

カカオの最終製品を製造するというガーナとコートジボワールの新戦略が成功すれば、両国はバリーカレボーのようなスイスの商品加工業者と、特に中国で直接競合することになる。バリーカレボーは、10年以上前から中国に地道な投資を行い、マーケティングを通じてチョコレート文化の創造などに力を入れてきた。同社は蘇州に現地工場と営業所があるほか、上海、北京、深センに3カ所の営業所とチョコレートアカデミーセンター（これまでに5千人以上の中国の職人がチョコレート製造の訓練を受けている）がある。swissinfo.chの取材に対し、バリーカレボーはこの件が同社の最終損益にどのような影響を与えるかについてコメントを控えると回答した。

またガーナとコートジボワールがカカオの自国加工を増やそうとすることによって、外国企業の生カカオ豆調達が難しくなり、スイスのサプライチェーンと利益率に影響が及ぶ可能性がある。西アフリカからの原料供給が減れば、ネスレやリンツなどのチョコレート製造企業はカカオバターなどの原材料の値上げに直面するかもしれない。そのしわ寄せは消費者に行くだろう。ネスレは現在、生カカオ豆の46%をガーナとコートジボワールから仕入れている。またガーナはリンツ&シュプルングリーの「カカオ豆の主要産地」だ。

新たな機会

しかし、高付加価値製品を目指すガーナとコートジボワールの動きは、スイス企業にとってビジネスチャンスでもある。スイスの食品加工機械メーカー、ビューラーは6月、ガーナのカカオ委員会との間で、研修・製品開発・技術指導を提供する契約を結んだ。swissinfo.chの問い合わせに対し、ビューラーはこのパートナーシップの対価を明らかにしなかった。

ガーナのカカオ委員会のジョゼフ・ボアハン・アイドゥー最高責任者（CEO）は6月22日に行われたビューラーとの調印式で、同社の関与は自国の「伝統的なココア製造から現代的なココア製造への移行」の一部となる、と述べた。

アイドゥー氏はまた、7月にガーナを公式訪問したスイスのシモネッタ・ソマルーガ環境相に対し、スイスからの二国間支援を訴えた。アイドゥー氏はスイスが中国を見習って、国際市場向けのカカオ半製品・最終製品の製造を可能にするパートナーシップ構築を通じてガーナとの経済関係を強化するよう求めた

2. ナイジェリアの7月のカカオ関連の輸出数量は前年対比 2.4%減少 (8/27)

首都ラゴスにあるアパパ港の検査機関および船会社がまとめたデータによると、ココア豆の出荷量は前年同期の15,574トンから15,197トンに減少した。

- 6月のカカオ豆出荷量は21,635トン
- ナイジェリア・ココア輸出協会のピウス・アヨデレ会長は、天候不順により数量が減少したと述べました。
- アジアは全体の75%にあたる11,415トンを輸入、その他の主な仕向け地はマレーシアとインドネシア
- 7月のココアバター輸出量は前年同期の628トンから724トンに増加、主な輸出先はドイツと中国

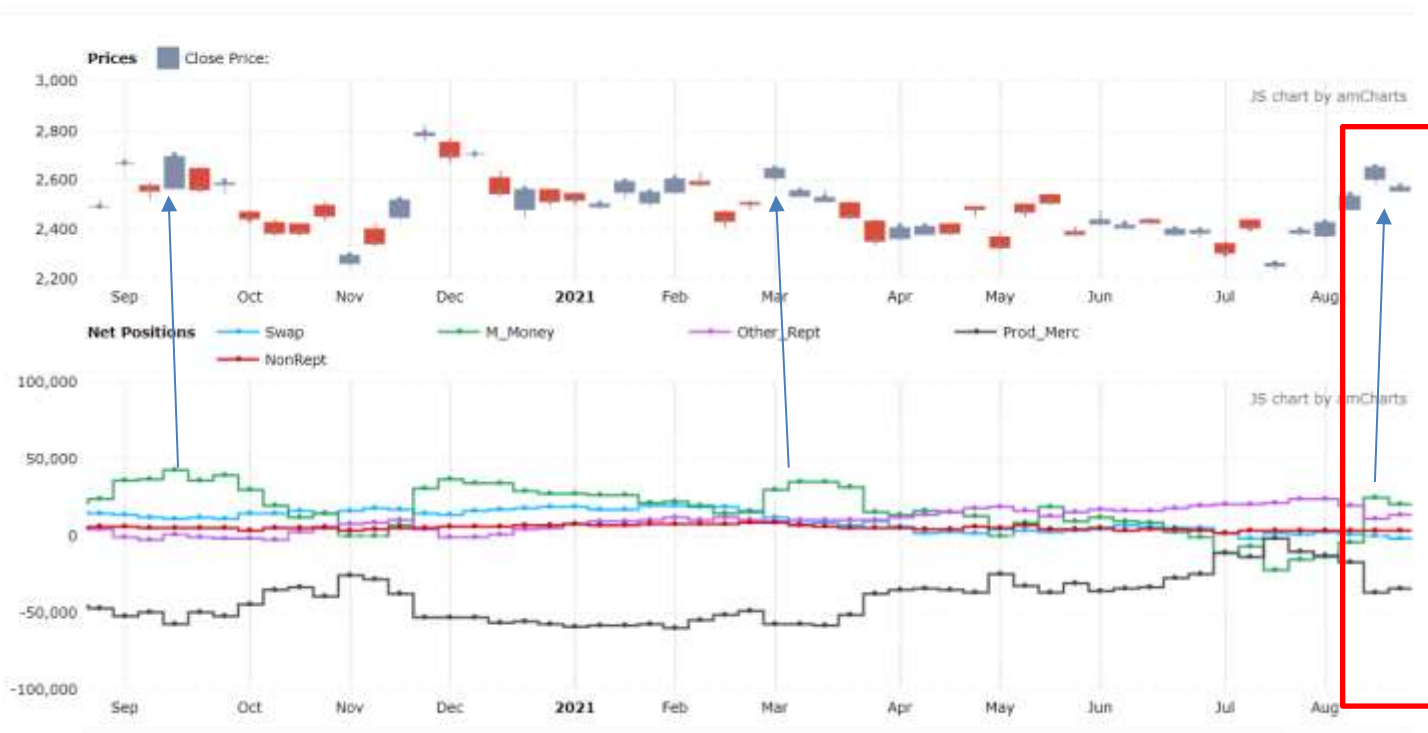
3. ファンド勢のNYカカオ先物は純買い越しポジションが減少(8/28)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は純買い越しポジションを5,554ロット減らし19,727とした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、8月24日)の取引が含まれている。

- 総買い数量は先週より3,608ロット減少し、51,130ロットとなった。
- 総売り数量は1,946ロット増えて、31,403ロットとなった。

NY市場の投機筋ポジションの推移 (過去1年のデータ)

Prices & Net Positions



上記の表の上は価格の推移、下の表は各カテゴリー (実需家 (Prod Merc) ,投機筋 (Managed Money) ,スワップディーラー等) のポジションの推移を各色線で表しています。私が主に注目しているのは、黒線で表されている実需家と緑線の投機筋です。投機筋の買いポジションが増えたときに価格は上昇し、減った時に価格が下落する傾向があるからです。現在は、7月は投機筋も売り越すという弱気相場、実需筋もほぼ売り越しがなく、非常に閑散とした市場環境だったのが、現在は実需筋はメインクroppを前にして、トレーダーが産地から高値で先渡し契約を買い付け、先物市場で売りヘッジを行っているため、黒線の売りポジションが大きく、一方

で投機筋の買いポジションが短期的に増えている状況です。投機筋の買い越しは、実需の回復や新物生産量の落ち込み予測などに基づく部分も多いですが、外部要因で動くことも大きいので必ずしもカカオ単体の理由だけではないのが最近の常です。コーヒーがカカオ以上に現在高騰しており、カカオ、コーヒーのセットでETF（上場投資信託）などにも組み込まれていることもありその影響で買われているような場合もあります。先週後半は少し投機筋の買いが減って調整された感じがありましたので、今週は、もう一段価格が下がり、高騰は落ち着くのかどうかが見どころ。

4. Guan Chong の第2 四半期の純利益はココア需要の減少と利益率の低下により 36%減少 (8/23)

カカオ豆磨砕業者の Guan Chong Bhd は、第2 四半期の純利益が減少と発表した。ココア価格の下落と運賃の上昇が利益率低下の要因となった。

売上高は4%減の RM876mil (≒229 億円)で、前年同期の RM910mil (238 億円)に比べて減少した。

純利益は、前年同期の RM57mil (≒14.9 億円)から 36.4mil (≒9.5 億円)に36%減少した。これは主に、当四半期の売上高と利益率の低下によるものです。

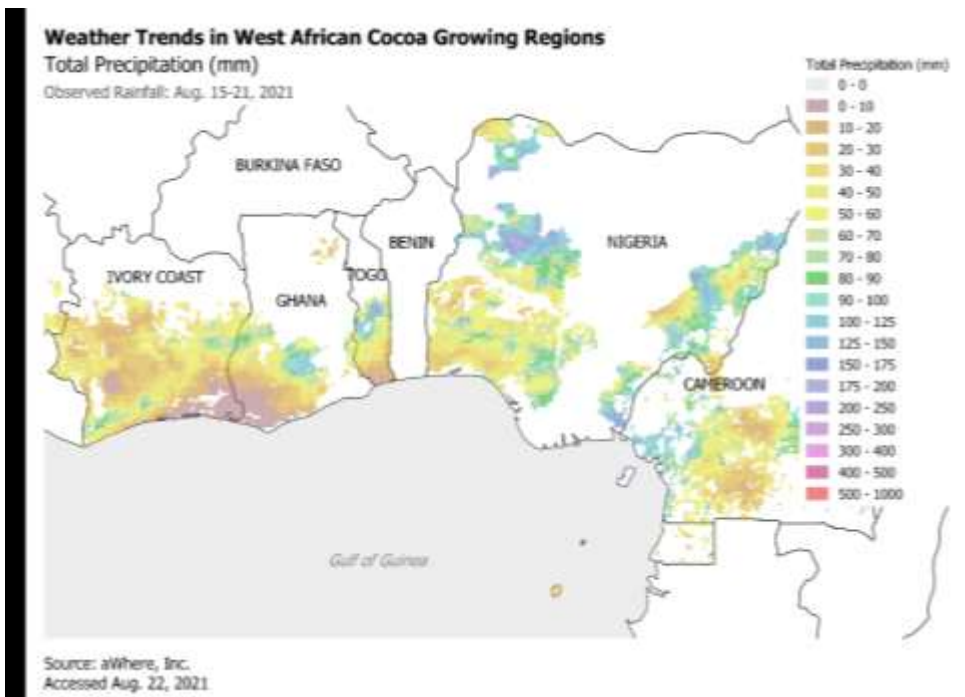
「Covid-19 はアジアの一部の国で普及しており、これが需要に若干の影響を与えています。今後の需要は、今後数ヶ月の間にこれらの国で行われるワクチンの普及速度に依存する」と述べています。

「コンテナ不足の問題は、輸送コストを上昇させるため、ココア業界にとって引き続き問題となっています。この問題は少なくとも来年の初めまでは続くと予想しており、そのため今年の出荷は遅れると予測しています」と付け加えました。

5. アフリカ UPDATE: コートジボワールとガーナで降雨により収穫の見通しが高まる (8/23)

今週、世界最大のカカオ生産国であるコートジボワールとガーナでは、10月に始まるメインクロープを前に、降雨が作物を助けた。特に第2位の生産国であるガーナでは、7月中は雨が降らなかったため、先週の雨は生産者にとって好ましいもので、これまで乾燥した状態が続いていたため、今回の雨で大きな懸念はなくなった。コートジボワールでは、生産者が現金を調達するために、正式なシーズンが始まる前にいくつかの豆を収穫して販売しようと試みているという情報が入ってきています。

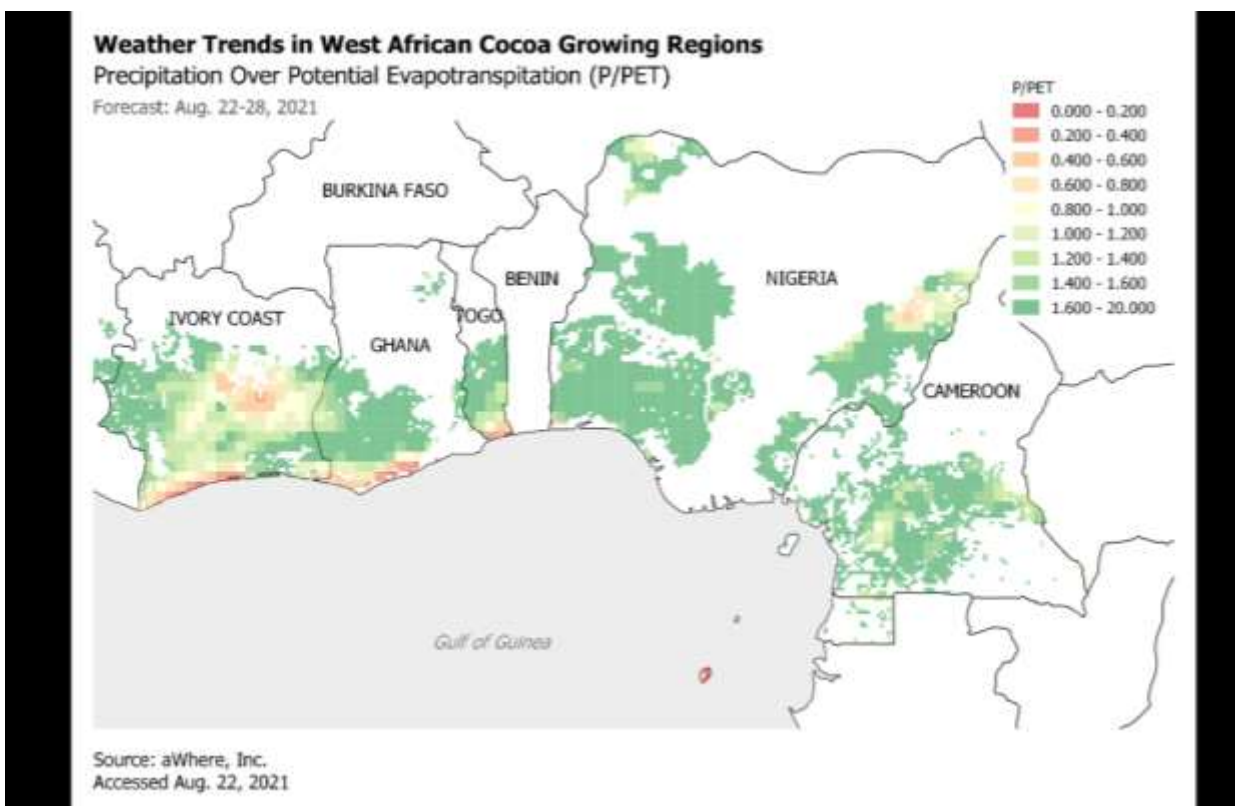
ガーナとコートジボワールの南西部国境に位置する Adibowe の農家、Regina Quavi 氏は、「何週間も続いた曇り空の後の、ありがたい雨」だと述べています。「来シーズンに収穫を控えた作物のために、この傾向が今後数週間続くことを期待しています」。



*8月21日までの1週間における西アフリカのカカオ生産地域の降水量。(資料：aWhere)

西アフリカでは、先週、カメルーンの南西部で大雨により農作業が中断され、ブラックポッド病が発生したとの報告がありました。ナイジェリア南東部の農家からも同様の天候が報告されており、そこでも作物の病気が発生する可能性が懸念されています。ナイジェリアの南西部では、寒さと風が作物の生育に悪影響を及ぼしていると生産者が述べています。

aWhere Inc. のデータによると、西アフリカのカカオ産地の多くで、今週は降雨量が増え、土壌の水分量が増加すると予想されている。カカオ先物相場は先週、ロンドンで3月初旬以来の高値を記録しました。これは、チョコレート需要の増加に対する楽観的な見方と、米国の港における在庫量の減少に支えられたものであった。



*8月22日から始まる週のP/PET予報。P/PETとは、その地域の蒸発需要に対する降雨量の割合を示したものです。比率が1を下回ると、その期間に水分が不足することを示し、数値が低いほど作物へのストレスが大きいことを意味します。（資料 aWhere)

6. コートジの8/16-8/22の1週間カカオ着荷数量 16,708 トン、合計で241万トンに (8/23)

政府のカカオ業界のデータに詳しい関係者によると、コートジボワールの農民は先週、16,708 トンのカカオを港に送った。前年の同じ週の集荷数量は9,320 トン。また、10月1日にシーズンが始まって以来の総到着数は241万トンとなり、これは、昨シーズン19/20シーズンの同時期までの総着荷数量の約226万トンを上回る数字。

下記は、同国内でのカカオ豆を輸出及び加工用に買い付けた企業の上位リストである。

*期間は20年10月1日から21年8月22日までを反映。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	343,848
アウトSPAN(オーラムグループ)	299,968
Saco社	243,766
Touton 社	168,386
S3C 社	165,348
その他企業	1,186,394
合計	2,407,710

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。